

Celsis Advance / Celsis Advance II / Celsis Accel トラブルシューティング

Celsis Rapid Microbial Detection System

- **Daily control がパスしない**

1. **Instrument blank が規定値を超えてしまう（規定値：RLU 値 100 未満）**

Instrument blank は検体及び試薬溶液が入っていない状態のキュベットのシグナルを測定します。

RLU 値が 100 以上になった場合、再度試験を行ってください。それでも RLU 値が高い場合は以下のことを確認してください。

- ① ルミノメーターのドア部分

ルミノメーターのドア部分が確実に閉まるか、ラバー部分が所定内の場所に位置しているか、装置が稼働している際にドアのロックがきちんとかかるかどうかを確認してください。

- ② キュベットの状態

- ・キュベットに傷が付いていないかどうかを確認してください。傷が付いていると RLU 値が高値を示すことがあります。

- ・キュベットは必ず暗所に保管してください。キュベットは蛍光灯等の外部光を吸収する性質があるため、測定時にキュベットから放出された吸収光が検出されてしまう可能性があります。

- ・測定環境の湿度を確認してください。測定に適した湿度は 30%-90%です。低湿度の環境はキュベットに静電気が生じる原因となり、静電気は RLU 値を上昇させる原因となります。静電気の発生が疑われる場合はキュベットを湿式布で拭くか、静電気防止スプレーを吹きかけてください。

- ③ プライミング後の溶液の飛散

プライミング後、溶液がチャンバー内に飛び散っていないかどうかを確認してください。試薬の飛び散りや汚れが見つかった場合はチェーンを外して水で湿らせた布で掃除してください。測定前にチャンバー内を完全に乾かし、チェーンを元に戻してください。

※ Celsis Accel の場合はチェーンがありませんので円盤を回転させながら掃除してください。

- ④ 装置内の空気循環

装置の背面が壁から 10cm 以上離れていることを確認してください。装置内の空気循環が制限されると装置の適切な冷却ができなくなり、測定に影響を及ぼしてしまう可能性があります。

以上の操作を行っても RLU 値が高い場合は弊社までお問い合わせください。

2. Reagent blank が規定値を超えてしまう（規定値：RLU 値 1000 未満）

Reagent blank は検体が入っていない状態で、試薬のみのシグナルを測定します。

RLU 値が 1000 以上になった場合、再度試験を行ってください。それでも RLU 値が高い場合は以下のことを確認してください。

① AMPiScreen 試薬の温度

AMPiScreen 試薬は確実に室温に戻してから使用してください。冷蔵庫から取り出して 30 分以上経過してから使用することを推奨いたします。

② 試薬またはインジェクターの汚染

- ・ Reagent blank の RLU 値が高くなる原因として最も考えられることは、試薬やインジェクターの汚染です。スタートアップの溶液（Washing solution、Rinsing solution）と AMPiScreen 試薬を新しいボトルに交換し、再度スタートアップと Daily control を実施してください。
- ・ それでも RLU 値が高い場合は Wash および Rinse 操作を 2~3 回繰り返してください。
- ・ 改善されない場合は Monthly maintenance & cleaning treatment を実施してください（一晩かかります）。

以上の操作を行っても RLU 値が高い場合は弊社までお問い合わせください。

3. ATP Positive Control の値が規定値を下回ってしまう（規定値：RLU 値 50000 以上）

ATP Positive Control はキュベット内に ATP 溶液をアプライし、AMPiScreen 試薬が正常に反応するかどうかを確認します。

RLU 値が 50000 未満になった場合、再度試験を行ってください。それでも RLU 値が低い場合は以下のことを確認してください。

① ATP Positive Control 溶液等の温度

ATP Positive Control 溶液を含むすべての試薬の温度が室温に戻っていることを確認してください。

② ATP Positive Control 溶液のキュベットへのアプライ

ATP Positive Control 溶液がキュベットの底部に確実にアプライされていることを確認してください。キュベットの壁に溶液が付着していると、AMPiScreen 試薬と反応しないことがあります。

③ ATP Positive Control 溶液の有効期限

分注後に冷凍保管（-20°C）した ATP Positive Control 溶液の有効期限は 4 週間、冷蔵保管

(2-8°C) した場合は4日間です。なお解凍後の再冷凍はできませんので、その日のうちに使い切ってください。

以上の操作を行っても RLU 値が低い場合は弊社までお問い合わせください。

● よくあるご質問

1. Celsis Rapid Microbial Detection System のソフトウェアに対応している windows のバージョンを教えてください。

ソフトウェアのバージョン	対応している windows のバージョン
Ver. 3 以前	windows XP, 7, 8
Ver. 4 以降	windows 7, 8, 10

2. Delete proof folder 機能とは何ですか。

Ver. 4.0.5 以降のソフトウェアに搭載されている機能です。指定のフォルダに保管された測定データは、フォルダから削除できなくなるという機能です。

3. Daily control に用いる ATP positive control 溶液の使用期限を教えてください。

ATP positive control 粉末を付属のバッファーに溶解後、冷凍保管 (-20°C) で 1 か月間保存することが可能です。冷凍した ATP positive control 溶液を常温に戻した後の再冷凍はできませんので、その日のうちに使用してください。

4. AMPiScreen 試薬の構成とそれぞれの役割を教えてください。

AMPiScreen 試薬は以下の 3 種類の試薬から構成されています。

Celsis LuminAMP	精製された ADP
Celsis LuminEX	細胞からの ATP 及び AK (アデニル酸キナーゼ) 抽出用試薬
Celsis LuminATE/	ATP 発光反応に必要な Luciferase / Luciferin
Celsis LuminATE buffer	Celsis LuminATE 懸濁用バッファー

5. ソフトウェアにログイン出来なくなりました。

同一のユーザーで 3 回連続ログインに失敗するとそのユーザーはロックされ、ソフトウェアにログイン出来なくなってしまう。手順につきましては【ユーザーロックの解除方法】の資料をご参照ください。お手元に資料が無い場合には、弊社までお問い合わせください。

6. サンプルの Background RLU 値が高い (RLU 値>50) 場合はどうしたらいいですか。

Overload を示したサンプルの発光が直後のサンプルの測定時に微妙に持ち込まれるために、Background RLU 値が高値を示すことがあります。判定が”Negative”であれば Background

RLU 値が 50 を超えていても再測定は必須ではありません（SOP がある場合はそちらに従ってください）。

*ご不明点がありましたらご遠慮なくお申し付けください。

株式会社ベリタス

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-10-14 住友東新橋ビル 3 号館 5 階

TEL: 03-5776-0078 FAX: 03-5776-0076

技術的なお問い合わせ TEL: 03-5776-0040 E-mail: Tech_support@veritastk.co.jp